

校長室だより



第22号

令和2年10月6日
校長 齋藤 瑞穂

全力で大成功!

～ 4・5・6年体育的行事 ～

3日は、4・5・6年生の体育的行事がありました。さわやかな秋空の下、各学年、練習してきた成果を十分に発揮し、大満足な時間だったのではないのでしょうか？

4年生は、準備運動の「東京ビクトリー」から笑顔いっぱい元気はつらつでした。70m走では、難しいコーナーもみんなしょうずに走り抜き、ゴールテープ目指してがんばりました。ソーラン節は、校庭練習を初めてみたときはまだまだかわいらしい感じの踊りでしたが、日ごとにたくましさ、力強さが出てきて、本番は迫力の演技でした。すっかり高学年の仲間入りですね。



5年生の徒競走は、多くのレースがゴールぎりぎりまで大接戦となり、一人一人の本気とやる気がひしひしと伝わってきました。表現演技は、隊形移動の美しさに会場からも感心の声があがりましたよ。1学期



の休校明け間もない時から積み重ねてきた一人技の練習成果が見事に表れてりっぱでした。



そして、6年生。最高学年の自覚と気迫に圧倒される最高の演技でした。

走る姿の力強さ、これは徒競走でもリレーでも見事でしたが、特にリレーは、バトンパスにハプニングがあったときも、すかさず、「ドンマイ!」の大きな声がかかり、チームが一丸となって小学校生活最後の体育的行事を悔いないものにしようという気持ちがひしひし感じられました。表現では、一人技一つ一つの完成度の高さ、旗を振る姿の凛々しさ、一糸乱れぬ流れのある演技に胸が熱くなりました。応援団の力いっぱいの応援、大きな声もすばらしかったです。

この行事を通して、力いっぱいやることのすばらしさ、美しさをあらためて実感しました。全力をつくすこと、そしてやりきること。次は1、2、3年生にバトンが託されましたよ。17日を楽しみにしています。

投句箱より

俳句作りを呼びかけて三ヶ月。うれしいことに、多くの人が俳句作りにチャレンジを続けています。梅雨が明けない頃から、夏休みをはさんで残暑の厳しかった九月始め、そしてようやく過ごしやすいようになった彼岸すぎまで——俳句作りを通して、季節の移り変わりに敏感になったという人もいるかもしれませんね。

今回は二学期になってから九月末までに投句箱より一年生の作品をしようかします。

きれいだな つきのばんなく すずむしよ
一年 ふじい たける

どんぐりが おちてる早く ひろいたい
一年 よしおか ゆうか

あきがきた とんぼがいるよ ほらニひき
一年 みやかかわ おうか

あきがきた はろういん なにしよう?
一年 さいい こなつ

たのしいな うんどうかい うれしいな
一年 ふるや そうま

たのしいな うんどうかいは うれしいな
一年 たなか ゆな

たのしみだな うんどうかい うれしいな
一年 やまもと みつな

うんどうかい 早くリレーが やりたいな
一年 よしおか ゆうか

